

港湾内における海水モニタリングの状況 (H25年の最高値と直近の比較)

海側遮水壁

シルトフェンス

『最高値』→『直近(6/18-6/26採取)』の順、単位(ベクレル/リットル)、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

出典: 東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

セシウム-134 : 3.3 (H25/10/17) → ND(0.30) 1/10以下
セシウム-137 : 9.0 (H25/10/17) → ND(0.31) 1/20以下
全ベータ : **74** (H25/ 8/19) → 15 1/4以下
トリチウム : 67 (H25/ 8/19) → 3.8 1/10以下

セシウム-134 : ND(0.41)
セシウム-137 : 1.4
全ベータ : ND(17)
トリチウム : 3.0 ※

セシウム-134 : 3.3 (H25/12/24) → ND(0.55) 1/6以下
セシウム-137 : 7.3 (H25/10/11) → 0.45 1/10以下
全ベータ : **69** (H25/ 8/19) → ND(17) 1/4以下
トリチウム : 68 (H25/ 8/19) → ND(1.8) 1/30以下

セシウム-134 : 3.5 (H25/10/17) → ND(0.27) 1/10以下
セシウム-137 : 7.8 (H25/10/17) → 0.36 1/20以下
全ベータ : **79** (H25/ 8/19) → 18 1/4以下
トリチウム : 60 (H25/ 8/19) → 4.2 1/10以下

セシウム-134 : **32** (H25/10/11) → ND(0.44) 1/70以下
セシウム-137 : **73** (H25/10/11) → 4.6 1/10以下
全ベータ : **320** (H25/ 8/12) → ND(17) 1/10以下
トリチウム : 510 (H25/ 9/ 2) → 18 1/20以下
シルトフェンスの位置変更により、H29.2.11から試料採取地点を南に50m移動

セシウム-134 : ND(0.58)
セシウム-137 : 5.1
全ベータ : 17
トリチウム : 15 ※

セシウム-134 : ND(0.60)
セシウム-137 : 4.2
全ベータ : 20
トリチウム : 16 ※

セシウム-134 : ND(0.93)
セシウム-137 : 4.5
全ベータ : ND(17)
トリチウム : 22 ※

※のモニタリングはH26年3月以降開始
海側遮水壁の内側は埋め立てにより
モニタリング終了

セシウム-134 : 4.4 (H25/12/24) → ND(0.24) 1/10以下
セシウム-137 : **10** (H25/12/24) → 0.38 1/20以下
全ベータ : **60** (H25/ 7/ 4) → 17 1/3以下
トリチウム : 59 (H25/ 8/19) → 3.0 1/10以下

セシウム-134 : 5.0 (H25/12/2) → ND(0.27) 1/10以下
セシウム-137 : 8.4 (H25/12/2) → 0.41 1/20以下
全ベータ : **69** (H25/8/19) → ND(15) 1/4以下
トリチウム : 52 (H25/8/19) → 6.3 1/8以下

セシウム-134 : 2.8 (H25/12/2) → ND(0.39) 1/7以下
セシウム-137 : 5.8 (H25/12/2) → ND(0.56) 1/10以下
全ベータ : **46** (H25/8/19) → ND(17) 1/2以下
トリチウム : 24 (H25/8/19) → 4.6 1/5以下

	法令濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90 (全ベータ値と強い相関)	30	10
トリチウム	6万	1万

H30年6月27日までの
東電データまとめ

セシウム-134 : 5.3 (H25/8/ 5) → ND(0.37) 1/10以下
セシウム-137 : 8.6 (H25/8/ 5) → 0.91 1/9以下
全ベータ : **40** (H25/7/ 3) → ND(17) 1/2以下
トリチウム : 340 (H25/6/26) → ND(1.8) 1/100以下

注: 海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40(12ベクレル/リットル程度)によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる

港湾外近傍における海水モニタリングの状況 (H25年の最高値と直近の比較)

(直近値
6/18 - 6/26採取)

単位(ベクレル/リットル)、検出限界値未満の場合はNDと表記し、()内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

【港湾口北東側(沖合1km)】

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.71)
セシウム-137 : ND (H25) → ND(0.59)
全ベータ : ND (H25) → ND(17)
トリチウム : ND (H25) → ND(0.88)

【港湾口東側(沖合1km)】

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.50)
セシウム-137 : 1.6 (H25/10/18) → ND(0.57) 1/2以下
全ベータ : ND (H25) → ND(17)
トリチウム : 6.4 (H25/10/18) → ND(0.88) 1/7以下

	法令濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90 (全ベータ値と強い相関)	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口南東側 (沖合1km)】

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.65)
セシウム-137 : ND (H25) → ND(0.69)
全ベータ : ND (H25) → ND(17)
トリチウム : ND (H25) → ND(0.88)

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.62)
セシウム-137 : ND (H25) → ND(0.70)
全ベータ : ND (H25) → ND(17)
トリチウム : 4.7 (H25/8/18) → ND(0.88) 1/5以下

【北防波堤北側(沖合0.5km)】

【5,6号機放水口北側】

セシウム-134 : 1.8 (H25/ 6/21) → ND(0.61) 1/2以下
セシウム-137 : 4.5 (H25/ 3/17) → ND(0.57) 1/7以下
全ベータ : 12 (H25/12/23) → 10
トリチウム : 8.6 (H25/ 6/26) → ND(0.89) 1/9以下

【港湾口】

セシウム-134 : 3.3 (H25/12/24) → ND(0.55) 1/6以下
セシウム-137 : 7.3 (H25/10/11) → 0.45 1/10以下
全ベータ : **69** (H25/ 8/19) → ND(17) 1/4以下
トリチウム : 68 (H25/ 8/19) → ND(1.8) 1/30以下

【南防波堤南側 (沖合0.5km)】

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.81)
セシウム-137 : ND (H25) → ND(0.70)
全ベータ : ND (H25) → ND(17)
トリチウム : ND (H25) → ND(0.88)

セシウム-134 : ND (H25) → ND(0.76)
セシウム-137 : 3.0 (H25/ 7/15) → ND(0.82) 1/3以下
全ベータ : 15 (H25/12/23) → 11
トリチウム : 1.9 (H25/11/25) → ND(0.89) 1/2以下

【南放水口付近】

注: H28年台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1~4号機放水口から南側約330mの地点で採取。さらに、H29.1.27から同放水口から南側約280m地点で、H30.3.23からは約320m地点で採取。

注: 海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40(12ベクレル/リットル程度)によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる

出典: 東京電力ホームページ 福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果 <http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>